

TCHAIKOVSKY
THE COMPLETE
SYMPHONIES TAIJIRO IIMORI
TOKYO CITY
PHILHARMONIC ORCHESTRA飯守泰次郎 指揮
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団TCHAIKOVSKY THE COMPLETE SYMPHONIES
チャイコフスキー
交響曲全集

FOCD6030/4(5CD) 定価 ¥5,250 (税込)

2011年6月-2012年3月 東京オペラシティ/
ティアラことうでのライブ録音

1997年の常任指揮者就任以来、古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動で常に注目を集めた飯守／東京シティ・フィル。「指環」四部作を始めとするワーグナーの主要作品上演、そして2000および2010/11のシーズンには、2種の異なる版による〈ベートーヴェン・ツィクルス〉を敢行。演奏史に偉大なモニュメントを建立しました。

本CD収録の演奏は、飯守が東京シティ・フィルの常任指揮者としての最後のシーズンにおこなった〈チャイコフスキー交響曲全曲シリーズ〉のライブ録音です。その演奏は、甘美な旋律、華麗なオーケストレーション、卓抜なリズムといった表面的な『チャイコフスキーの魅力』の深奥に在るロシア的な本質に深く迫ります。

長年の功績により、平成24年度文化功労者に選ばれた飯守泰次郎。東京シティ・フィルと共に歩んだ15年の集大成ともいえる名盤がここに誕生しました。

Disc 1 交響曲 第1番 ト短調 作品13「冬の日の幻想」

Disc 2 交響曲 第2番 ハ短調 作品17「小ロシア」
交響曲 第3番 二長調 作品29「ポーランド」

Disc 3 交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

Disc 4 交響曲 第5番 ホ短調 作品64

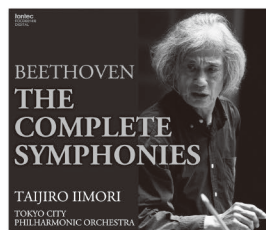
Disc 5 交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」

監 成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協 賛：ローム株式会社

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロ・オーケストラの活動を支援しています。

発売中

飯守泰次郎 指揮 東京シティ・フィルのCD

ベートーヴェン 交響曲全集
(マルケヴィチ版に基づく)

FOCD6014/8(5CD) ¥5,250 (税込)

監 成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
協 賛：ローム株式会社R.シュトラウス
交響詩「英雄の生涯」作品40

ゴルトシュミット

交響的シャコンヌ

FOCD9465 ¥2,500 (税込)

ベートーヴェン 交響曲全集
(新ペーレンライター版に基づく)

FOCD9438/42(5CD) ¥4,200 (税込)

監 成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
協 賛：ローム株式会社

マーラー 交響曲 第9番 FOCD9449/50(2CD) ¥3,150 (税込)

ブルックナー 交響曲 第6番／シューマン 交響曲 第4番 FOCD9211/2(2CD) ¥3,059 (税込)

ブルックナー 交響曲 第3番 FOCD9149 ¥2,835 (税込)

ドヴォルジャーク 交響曲 第8番 FOCD9143 ¥2,835 (税込)

ブルックナー 交響曲 第7番 FOCD9133 ¥2,835 (税込)

モーツァルト 交響曲 第35番・第38番 & 第41番 FOCD9131 ¥2,835 (税込)

ブルックナー 交響曲 第4番「ロマンティック」 FOCD9130 ¥2,835 (税込)

The 342nd
Subscription Concert
Wed. 16th Jun. 2021 7:00pm at the Tokyo Opera City Concert Hall
Tokyo
City
Philharmonic
Orchestra

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

第342回定期演奏会

2021 6/16 水 7:00pm

東京オペラシティ コンサートホール

プログラム PROGRAM



第342回定期演奏会 The 342nd Subscription Concert

2021年6月16日(水)午後7時開演 東京オペラシティ コンサートホール
Wed. 16th Jun. 2021 7:00pm at the Tokyo Opera City Concert Hall

ブルックナー：交響曲第5番 変ロ長調(原典版) (約80分)
A.Bruckner: Symphony No.5 in B-Flat Major, WAB105 (Original version)

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| I イントロダクション：アダージョーアレグロ | Introduction : Adagio – Allegro |
| II アダージョ：非常にゆっくりと | Adagio : Sehr langsam |
| III スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ | Scherzo : Molto vivace |
| IV フィナーレ：アダージョーアレグロ・モデラート | Finale : Adagio – Allegro moderato |

※途中休憩はございません。予めご了承ください。

指揮(常任指揮者)：高関 健 Ken Takaseki, Conductor (Principal Conductor)

コンサートマスター：戸澤 哲夫 Tetsuo Tozawa, Concertmaster

主催：一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

※携帯電話、スマートフォン、アラーム付き時計などをお持ちのお客様は、電源をお切りください。
※演奏中の入退場は他のお客様のご迷惑にもなりますのでご遠慮ください。 ※許可のない写真撮影、録音・録画は固くお断りいたします。

東京シティ・フィルは、1994年から東京シティ・バレエ団と共に東京都江東区と芸術提携を結び、公益財団法人江東区文化コミュニケーション財団の協力を得て活動を行っています。「音楽の輪を広げよう!」。東京シティ・フィルは地域の皆さんと一緒に活動します。



プロフィール PROFILE

高関 健 指揮(常任指揮者)

Ken Takaseki, Conductor (Principal Conductor)

桐朋学園在学中の1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤンのアシスタントを務め、タングルウッド音楽祭でもバーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。国内はもちろん海外への客演も多く、2013年と2017年にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、P.ブーレーズ、M.マイスキー、I.パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にM.アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど絶大な信頼を得ている。広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現・名誉指揮者)、札幌響正指揮者、京都市響常任首席客演指揮者などを歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、静岡響ミュージック・アドヴァイザー、東京藝大音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィル首席指揮者。第4回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞を受賞。2019年3月にはウラジオストクとサンクトペテルブルグにおいて、『ロシアにおける日本年』の一環として團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日本とロシアの文化交流に大きな役割を果たした。今年4月11日まで、新国立劇場オペラ公演、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」の指揮を務め、ロシア・オペラの魅力を存分に伝えて高評価を得た。



©Masahide Sato

プログラム・ノート

PROGRAM NOTES

解説・柴田 克彦 Katsuhiko Shibata

常任指揮者・高関健と東京シティ・フィルのコンビも7年目のシーズンに入った。本定期では、交響曲の大家ブルックナーの第5番という、幕開けに相応しい大作が披露される。当コンビは昨年8月にブルックナーの交響曲第8番で圧倒的な名演を残しており、その濃密かつ雄大な演奏はコンビ初のCD化もなされている。今回の第5番は、荘厳で大伽藍のような音楽と大規模な構成において“最もブルックナーらしい”といえる交響曲。その意味では第8番と双壁をなしているだけに、再度の名演への期待も大きい。ここは、ブルックナーに造詣の深い高関健が導く、壮麗なオルガンのサウンド、細密にして壮大な表現、そして圧倒的なクライマックスを堪能したい。

アントン・ブルックナー(1824～1896)

交響曲第5番 変ロ長調 (原典版)

11曲(00番と0番を含む)の交響曲を残したロマン派の作曲家ブルックナーは、オーストリア北部リンツ近郊のアンスフェルデン村に生ま

れた。13歳の年に音楽の手ほどきをしてくれた父が死去。彼は近くのザント・フローリアン修道院に送られ、後に同修道院のオルガン奏者も務めた。1855年リンツの教会のオルガン奏者に採用され、39歳の年の1863年に初の交響曲(00番)を作曲。1865年「トリスタンとイゾルデ」を聴いてワーグナーの信奉者となる。1868年ウィーン音楽院の教授に就任。以後はウィーンで活動し、交響曲の創作&改訂を間断なく行った。

1872年から74年にかけて交響曲第2、3、4番の第1稿を完成させたブルックナーは、第4番の完成から約3ヶ月を経た1875年2月14日、この第5番の第2楽章を書き始め、1876年5月16日に全曲の作曲を完了した。だが、第3番の改訂等を挟んだ1877年5月16日、第5番の改訂に着手し、1878年1月4日にそれを完了。すなわち本作は、ブルックナーがウィーンに移って10年後、54歳の年に完成された交響曲である。

しかし本作は初演の機会を得ることができなかった。16年後の1894年4月9日にグラーツで、フランツ・シャルクの指揮によってようやく初演されたものの、病身のブルックナーは立ち会えなかった。しかもこの時演奏されたのは、シャルクによって大幅に改ざんされた版だっ

た。1896年にウィーンのドブリンガー社から出された初版も、おそらく初演に基づく内容で、第4楽章が短縮され、オーケストレーションも全面的に変更された上に、最後のコーラル部分に金管楽器のバンダや打楽器が加えられるなど、原型とはまるで異なっていた。なおこのシャルク版は、クナッパーツブッシュやロジェストヴェンスキー等の指揮による録音で耳にすることができる。

ブルックナー自身による原典版は、1935年ハースの校訂で出版され、同年ハウゼンガー指揮／ミュンヘン・フィルによって初演された。1951年にはノヴァーク版も出されたが、両者は基本的に同じもの。1878年の完成後は作曲者による改訂もなされていないので、第5番は、改ざん版を除けば版や稿の問題がない、ほとんど唯一のブルックナー交響曲であり、「原典版」そのまま演奏される(今回も同様)限り、作曲者が完成させた通りの音楽を聴くことが可能な作品である。

本作に着手した当時のブルックナーは、精神的にも経済的にも苦しい状況にあった。ウィーンの都会的な空気に馴染めず、音楽院の教師は薄給で、反ワーグナー派の大批評家ハンスリックの冷遇にも耐えなければならなかった。彼は、1875年2月13日付の援助者マイフェルトへの手紙で、ウィーン移住を後悔し、

「第4交響曲を写譜してもらおうお金もありません」と嘆いている。第5番のアダージョ楽章(第2楽章)を書き始めたのは、この手紙の翌日。つまり絶望的な気分で作曲が開始されており、当楽章最初のオーボエの旋律にはその思いが反映されているとみられている。

だが全体としてみれば、対位法の巨匠が持てる技術を最高度に発揮した作品であり、荘厳で力感溢れる大交響曲である。同一主題が楽章をまたぐ循環形式が多層的に用いられた有機的な構築がなされ、金管楽器のコーラルの多用や、フーガをはじめとする精緻な対位法の積み重ねも際立っている。また、第1楽章に彼の交響曲では初の導入部が置かれ、同楽章を含めた全4楽章中3楽章が弦楽器のピッツィカートで開始される点も特徴的。従って、弦の弱音のトレモロによる「ブルックナー開始」でない稀少な作品となっている(ただし主部の主題はトレモロが導く)。またチューバの使用も第4番の第2稿に先駆けた最初の例である。

第1楽章……アダージョ・アレグロ。ゆったりと始まる導入部は、付点リズムのファンファーレが雄大な頂点を築く。主部はソナタ形式。ヴィオラとチェロが出す流麗な第1主題、ピッツィカートに始まる第2主題、木管楽器が出す伸びやかな第3主題を軸に、極めて多様な展開を遂げ、第1主題を中心としたコーダで華

麗な終結を迎える。

第2楽章……アダージョ、非常にゆっくりと。ニ短調の緩徐楽章。A-B-A'-B'-A"の5部分で構成されている。Aはオーボエが出す憂いを帯びた主題(3連符のピッツィカートとのズレ感が妙味)が中心の部分で、Bは「非常に力強く、はっきりと」と指示された弦5部による深々とした主題が中心の部分。終盤は金管楽器を中心に大きく高揚し、静かに終わる。

第3楽章……スケルツォ、モルト・ヴィヴァーチェ(速く)。第2楽章最初の弦楽器の動きをテンポアップした形で開始。ニ短調の主部は、木管楽器が出す滑らかな第1主題と、田舎舞曲風の明るい第2主題を軸にした、ソナタ形式のような構成がなされている。ホルンに始まる変ロ長調の牧歌的なトリオを挟んで、主部がそっくり繰り返される。

第4楽章……フィナーレ、アダージョ・アレグロ・モデラート。第1楽章と同じ形で始まる導入部では、第1、第2楽章の主要主題が回想される。これはベートーヴェンの「第九」に由来するとみられている。主部は、フーガによる第1主題(部)、明るい第2主題、激烈な第3主題を軸としたソナタ形式。だが提示部の最後に金管楽器による厳かなコラールが奏され、その旋律によるフーガ、さらに第1主題が絡む二重フーガが展開される。やがて各主題の再現と共に第1楽章の第1主題が登場。

終盤はこれが重要な役割を果たす。コーダでは「コラール」と記された部分が現れ、各主題が荘厳に繰り返される圧倒的な高揚の中で終結する。

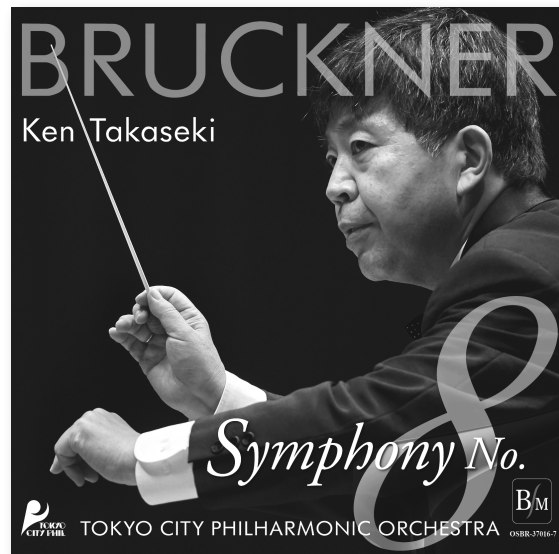
■楽器編成

フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、弦5部

柴田 克彦(しばた かつひこ)

音楽マネジメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。「ぶらあぼ」「モストリー・クラシック」等の雑誌、公演プログラム、宣伝媒体、CDブックレットへの寄稿、プログラム等の編集業務、講演や講座など、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)。今年6月、「1曲1分でわかる! 吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」(音楽之友社)を上梓。

常任指揮者 高関健×東京シティ・フィル
『ブルックナー 交響曲第8番(ハース校訂による原典版)』
CD好評発売中!



意欲的公演による壮大な名演!
高関健と東京シティ・フィルによる真摯なブルックナー像。
2020年8月12日の定期演奏会ライブが最新で登場。
日本のオケの録音史に二石を投じる名演!

- 品名:ブルックナー:交響曲第8番(ハース校訂による原典版)
高関 健、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
- 演奏:高関 健(常任指揮者)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
- 販売価格:2,970円(税込)※2枚組
- 発売:2021年3月26日
- 規格品番:OSBR37016
- レーベル: BRAIN×TOWER RECORDS
- 録音:2020.8.12 第332回定期演奏会 ライヴ録音
(東京オペラシティ コンサートホール:タケミツ メモリアル)
- 解説:高関 健、柴田克彦
- 原盤:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

タワーレコードオンラインショップでのご購入はこちら ▶



ニュース & お知らせ

■ 2021-2022 シーズンプログラム

今シーズンも豪華な出演者と聴きごたえのあるプログラムで皆様にお届けしてまいります。どうぞご期待ください。詳細は、下記や本日配布しております「2021-2022シーズンプログラム」をご覧ください。

※出演者・曲目等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

定期演奏会 会場：東京オペラシティ コンサートホール

スプリング			
第343回	2021 7/28 水 7:00pm	指揮：下野 竜也 ピアノ：小山 実雅恵	バーバー／弦楽のためのアダージョ 作品11 バーバー／交響曲第1番 作品9 伊福部昭／ピアノと管弦楽のための協奏風交響曲
第344回	2021 9/3 金 7:00pm	指揮：藤岡 幸夫 箏：遠藤 千品 尺八：藤原 道山	千住明／月光～尺八、十三弦とオーケストラの為の 大島ミチル／箏と尺八のための協奏曲－無限の扉－ ショスタコーヴィチ／交響曲第5番 ニ短調 作品47
オータム			
第345回	2021 10/14 木 7:00pm	指揮：高関 健	【ストラヴィンスキー没後50周年記念プログラム】 ストラヴィンスキー／小管弦楽のための組曲第2番 バレエ音楽「ミューズを率いるアポロ」 バレエ音楽「カルタ遊び」、3楽章の交響曲
第346回	2021 11/12 金 7:00pm	指揮：ロリー・マクドナルド ヴァイオリン：南 紫音	ティベツ／チャールズ皇太子の誕生日のための組曲 ヴォーン・ウィリアムズ／揚げひばり シベリウス／交響詩「4つの伝説曲」
第347回	2021 12/9 木 7:00pm	指揮：飯守 泰次郎	【シューマン交響曲全曲演奏シリーズ1】 シューマン／交響曲第1番 変ロ長調 作品38「春」 交響曲第2番 ハ長調 作品61
ウィンター			
第348回	2022 1/15 土 2:00pm	指揮：高関 健 ヴァイオリン：戸澤 采紀	ブリテン／歌劇「ピーター・グライムズ」より4つの海の間奏曲 ラロ／スペイン交響曲 ニ短調 作品21 メンデルスゾーン／交響曲第3番 イ短調 作品56「スコットランド」
第349回	2022 2/19 土 2:00pm	指揮：藤岡 幸夫 チェロ：宮田 大 ソプラノ：半田 美和子	ディーリアス（フェンビー編）／2つの水彩画 吉松隆／チェロ協奏曲「ケンタウルス・ユニット」作品91 ヴォーン・ウィリアムズ／交響曲第3番「田園交響曲」
第350回	2022 3/26 土 2:00pm	指揮：高関 健	マーラー／交響曲第9番 ニ長調

ティアラこうとう定期演奏会 会場：ティアラこうとう（江東公会堂）大ホール

ティアラこうとう			
第66回	2021 10/2 土 3:00pm	指揮：太田 弦 ピアノ：菊池 洋子	リスト／交響詩「レ・プレリュード」 ラフマニノフ／バガニニーの主題による狂詩曲 作品43 エルガー／創作主題による変奏曲「謎（エニグマ）」作品36
第67回	2022 1/29 土 3:00pm	指揮：藤岡 幸夫 ピアノ：田部 京子	シューベルト（吉松隆編）／シューベルト@ピアノ協奏曲 （世界初演） シベリウス／交響曲第1番 ホ短調 作品39
第68回	2022 3/5 土 3:00pm	指揮：高関 健 チェロ：北村 陽	ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 ブラームス／交響曲第1番 ハ短調 作品68

定期演奏会チケット

シーズンセット券	S席¥12,600 A席¥10,500 B席¥8,400 C席¥6,300 プラチナS席¥9,450 プラチナA席¥7,350 (60歳以上)
1公演券	S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000 プラチナS席¥4,500 プラチナA席¥3,500 (60歳以上) U20 (小学生～20歳、座席指定不可) ¥1,000 U30 (21歳～30歳、座席指定不可) ¥2,000 【江東区民割引 S席～C席 各¥200割引】
シーズンセット券/1公演券発売日	オータム ■会員先行発売 2021 4/26 (月) ■一般発売 2021 5/10 (月) ウィンター ■会員先行発売 2021 8/27 (金) ■一般発売 2021 9/10 (金)

ティアラこうとう定期演奏会チケット

1公演券	S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500 U20 (小学生～20歳、座席指定不可) ¥1,000 U30 (21歳～30歳、座席指定不可) ¥1,500 【江東区民割引 S席～C席 各¥200割引】
1公演券発売日	第66回 ■会員先行発売 2021 4/26 (月) ■一般発売 2021 5/10 (月) 第67・68回 ■会員先行発売 2021 8/27 (金) ■一般発売 2021 9/10 (金)

お申し込み
お問い合わせ

東京シティ・フィルチケットサービス

TEL: 03-5624-4002 (月・水・金11:00～15:00 ※祝日を除く)

URL: <https://www.cityphil.jp/> ※ご利用には会員登録が必要です。(無料)



■今後の公演情報

◀バレエ公演▶



上野の森バレエホリデイ2021 東京バレエ団
運命の愛「カルメン」&
青春の躍動「スプリング・アンド・フォール」
6.18[金]19:00開演 東京文化会館 大ホール

指揮 井田 勝大
出演 上野 水香(カルメン)/柄本 弾(ホセ)/沖 香菜子/秋元 康臣
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽) ほか
お問い合わせ NBSチケットセンター 03-3791-8888
(月-金10:00~16:00 土日祝・休)

※緊急事態宣言の延長により、会場定員の50%に達したため、チケットの販売を見合わせております。予めご了承ください。

◀楽団出演公演▶



シンフォニック・シネマ
～オードリー・ヘプバーン映像付きコンサート～
6.23[水]14:15開演
Bunkamura オーチャードホール

指揮 竹本 泰蔵
出演 吉村 妃鞠(ヴァイオリン)/CHIAKI(ピアノ)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)
お問い合わせ ネクストロード 03-5114-7444(平日14:00~18:00)

◀楽団員出演公演▶



DAC若手演奏家リサイタルシリーズ
ホップステップ Vol.41 谷あかね
6.28[月]19:00開演
スペースDo 管楽器専門店ダク地下

出演 谷 あかね(弊社ホルン奏者)
大野 真由子(ピアノ)
曲目 V.パーシケッティ:独奏ホルンのための寓話 第8番 作品120
R.シューマン:3つのロマンス 作品94
G.ジェイコブ:ホルンと弦楽のための協奏曲 ほか
お問い合わせ 管楽器専門店ダク 03-3361-2211 info@kkdac.co.jp

◀バレエ公演▶



東京シティ・バレエ団
白鳥の湖～大いなる愛の讃歌～
7.17[土]17:00開演/18[日]14:00開演
ティアラことう 大ホール

指揮 井田 勝大
出演 清水 愛恵(オデット、オディール)/中森 理恵(オデット)
佐合 萌香(オディール)/キム・セジョン(ジークフリード王子)
福田 建太(ジークフリード王子)
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(管弦楽)

お問い合わせ 東京シティ・バレエ団 contact@tokyocityballet.org

■その他のお知らせ

入団情報

やまもと よしき

山本 佳輝(首席第2ヴァイオリン奏者/2021年6月1日付)

この度第2ヴァイオリン首席奏者として入団させていただくことになりました、山本佳輝と申します。シティ・フィルは初めて客演させていただいた時からあたたかく迎え入れてくださり、今回入団できたことを大変嬉しく思います。楽曲の魅力を存分にお伝えできるよう真摯に向き合い、一つ一つの演奏会を大切に重ねて参りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



退団情報

清水 敦(第2ヴァイオリン奏者/2021年5月31日付[契約満了のため])

定期会員の皆様、本日御来場のお客様、弊団の活動に御支援を賜り厚く御礼申し上げます。この度、5月末を以ちまして退団致しました。オーケストラの一員として楽員各位、指揮者、ソリストの方々、事務局スタッフと共に充実した時を過ごす事が出来、感慨無量です。お客様には今後も東京シティ・フィルに注目して頂けましたら幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



コンサート・リポート CONCERT REPORT

今回は、3月26日に開催いたしました第341回定期演奏会の模様をお伝えいたします。どうぞご覧ください。



第341回定期演奏会

(2021.3.26[金] 会場:サントリーホール 大ホール)

3月26日に開催した第341回定期演奏会では、常任指揮者 高関健指揮によるモーツァルトとショスタコーヴィチの時代も性格も異なる対照的な2つの交響曲をお贈りいたしました。メインプログラムのショスタコーヴィチの交響曲では、張りつめた空気感のなか圧倒される轟音と強烈な響きが会場を包みました。終演後には高関マエストロへのソロ・カーテンコールで多くのお客様から鳴りやまぬ大きな拍手をいただき、シーズンを締めくくるにふさわしい公演となりました。

指揮:高関 健(常任指揮者)

曲目:モーツァルト/交響曲第31番 二長調 K.297「パリ」

ショスタコーヴィチ/交響曲第8番 ハ短調 作品65



©上野隆文

開演前に舞台上でプレ・トークをする
高関マエストロ

1曲目のモーツァルト
《交響曲第31番「パリ」》の
演奏風景



©上野隆文

2曲目の
ショスタコーヴィチ
《交響曲第8番》の
演奏風景



©上野隆文



©上野隆文

皆さまからのメッセージ



～第341回定期演奏会アンケートより(2021.3.26)～



高関マエストロ

©上野隆文



首席ティンパニ奏者 目等貴士



演奏後、
団員に拍手を贈る
高関マエストロ

©上野隆文

ご紹介した公演以外にも東京シティ・フィルの公演にご来場くださった皆様、ありがとうございました。今後もたくさんのお客様のご来場をお待ちしております！

ショスタコ8番をCD演奏でよく聞きますが、シティ・フィルの生演奏では冒頭から鳥肌が立ちました。曲のノリ、キレの良さ等客席まで振動が伝わってきて、指揮者とオケと観客の一体感に心から感動しました。今後もシティ・フィルならではの演奏を楽しみにしています。

過去聴いてきた高関さんとシティ・フィルの演奏会の中でも最高のものでした。今、こんな献身的に音楽に向き合い一つの音楽を作り上げられるオケはここだけだと思います。これからも素晴らしい演奏よろしくお願いします。

素晴らしいコンサートだった。高関さんの指揮から繰り出される音楽は、まさにショスタコヴィチ!! 廃墟と苦悩が空気全体を包み込んで何ともやるせなさを感じた。完璧な表現をしたオーケストラも見事だった。歴史的な1ページを開いた思いがした。

ショスタコヴィチの8番が演奏されると聞いてどうしても堪え切れず来てしまいました。現在の異様な空気感の中で聴く8番は通常時では感じ得なかったであろう程になにか心に染み入るものがありました。素晴らしい演奏とプログラム、いい時間を過ごせました。

高関先生のショスタコヴィチ、最高でした。シティ・フィルの方々も楽器がそれぞれ目立つような曲目で素晴らしい演奏でした。また似たようなプログラムの演奏会があればぜひ聴きに行きたいです。

多言無用。ショスタコヴィチの交響曲第8番の日本における史上最高の演奏だったと信じて疑わない。第5楽章再現部前にチェロ首席長明さんの弦が切れる事故があった。が、次席香月さんがすぐに長明さんと楽器を交換し弦を張り替えてくる行動に感心し、自身の楽器でなくともソロを見事に弾ききった長明さんに感嘆した。ピッコロ、イングリッシュホルン、クラリネット、小クラリネット、バスクラリネット、トランペット各ソロがお見事。打楽器陣の迫力。シティ・フィルの会員でよかったと心底思った。

大満足の演奏会でした！高関さんの演奏会にハズレはありません。オケもレベルが高く、また熱量が他のオケに比べて格段に高い。毎回感動して気持ち良く帰宅できます。加えて、今回のショスタコヴィチ8番はこれまた大々熱演でした！素晴らしい演奏会をありがとうございました。次回も楽しみにしています！

高関さんらしい、きちんと区画整理をされた設計図を団員の皆様が見事に表現されていたと思います。特にショスタコ8番は曲調も内容も重い曲ながら大変聴きやすく、また、聴き映えのする演奏でした。1曲で1時間以上と少し長めの交響曲ですが、全くそれを感じさせない(退屈する暇がない)演奏で、終演が惜しかったです。

今後のより良い演奏活動のための参考とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

■プレミアム定期会員の皆様

秋山 賢一	小菅 實	真中 佑子
天野 善教	後藤 健一	村上 雅章
安藤 智昭	佐藤 一彦	湯浅 強
五十嵐 博之	沢田 典広	良知 賀津也
井上 みゆき	十川 雅彦	渡辺 和也
大江 淳良	竹中 茂夫	渡邊 元一郎
鬼塚 秀彦	千葉 尚邦	H.Tomono & Kimie
織地 俊幸	築山 量一	T.H. & S.H.
唐錦 直哉	中野 弘一	T.Y.
菊池 千明	根本 直之	匿名50名
木下 徹	平田 敬一	
久芳 征一郎	星 和好	
栗原 裕子	本間 昌智	
小池 真一	マエストロ	

東京シティ・フィル
FMラジオ番組東京シティ・フィルの“らじおけ。”が
2020年7月1日より22:30～23:00(毎週水曜)にリニューアル!

江東区のラジオ局「レインボータウンFM」(88.5MHz)にて放送している弊社FMラジオ番組《東京シティ・フィルの“らじおけ。”》の放送時間が7月1日より変更となりました。ファゴット首席奏者 皆神陽太、ヴァイオリン奏者 吉武由夏の2人のメインパーソナリティによる楽しいトークをお届けいたします! 皆様からのご質問やメッセージをお待ちしております!

●放送日時: 毎週水曜日22:30～23:00 レインボータウンFM: <http://885fm.jp>

※江東区外でお聴きになる場合は、ラジオアプリをご利用ください。

「Listen Radio」(<http://listenradio.jp/>)

♪当番組では、皆さまからのご質問・メッセージを受け付けています!

メールアドレス: radioke@cityphil.jp

Twitter: [#らじおけ] をつけて投稿してください。

アプリダウンロードは
こちら! ➡

次回の定期演奏会 NEXT CONCERT

第343回

2021

7/28

水 7:00pm

指揮: 下野 竜也 ピアノ: 小山 実稚恵

バーバー/弦楽のためのアダージョ 作品11

バーバー/交響曲第1番 作品9

伊福部昭/ピアノと管弦楽のための協奏風交響曲



©Naoya Yamaguchi ©Hiromichi Uchida

本日は、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。新シーズン最初の定期演奏会、常任指揮者 高関マエストロによるブルックナー5番はいかがでしたでしょうか。

今回の第343回定期演奏会は、日本を代表する指揮者下野竜也マエストロと、ピアノ界を牽引し続ける小山実稚恵氏にご出演いただきます。前半にバーバーの作品、そして後半のメインプログラムにはお二人たつての希望で決定した伊福部昭の知られざる傑作《ピアノと管弦楽のための協奏風交響曲》をお届けいたします。実演が少ないこの作品を名手・小山氏のソロで聴くことができるこの機会はとても貴重です!

ぜひ会場まで足をお運びください。ご来場お待ちしております。

第343回定期演奏会

バーバー:
弦楽のためのアダージョ 作品11 指揮: 下野 竜也バーバー:
交響曲第1番 作品9伊福部 昭:
ピアノと管弦楽のための
協奏風交響曲ピアノ:
小山 実稚恵

2021 7/28 水 19:00開演(18:00開場)

東京オペラシティ コンサートホール

チケット料金(全席指定・消費税込) S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 C席 ¥3,000

割引チケット U20(小学生～20歳・座席指定不可) ¥1,000 U30(21歳～30歳・座席指定不可) ¥2,000

プラチナS席 ¥4,500 プラチナA席 ¥3,500(60歳以上) 江東区民割引(S席～C席) 各¥200割引

©Hiromichi Uchida

今回のコロナ禍に際し、私ども一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は公益社団法人 日本オーケストラ連盟加盟団体の一員として三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャル・グループ、東京海上日動火災保険株式会社より多額のご寄付をいただきました。心より御礼を申し上げます。

この度の危機を乗り越え、未来に向けてオーケストラの音楽を皆様に提供し続け、真に豊かな社会を築くことに貢献できるよう、今後の活動に励んでまいります。

一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



今後も新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまに音楽を届けてまいります。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団をご支援ください

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今なお感染症拡大防止の観点から、プログラムの変更や規模を縮小しての開催を余儀なくされております。そのため、弊団の活動の維持と発展にご協力を賜りたく、以下の2つの方法を設けております。

いただいた募金・ご寄附は全額弊団の運営費として活用させていただきます。皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

■東京シティ・フィル応援募金

- お申込み チケット予約・購入システム『Gettii』よりお申込みいただけます。

※ご利用には無料のオンラインチケット会員登録が必要となります。

チケット予約・購入システム
『Gettii』



- 募金 1口 1,000円

※お一人様何口でもお申込みいただけます。
※決済方法は現状クレジットカードのみでございます。
後日、お申込みのご住所に「領収書」をご送付いたします。

■東京シティ・フィル銀行振込によるご寄附

- お申込み 弊団へのご寄附をいただけます際には、下記の口座にお振込みいただきましたら幸いです。

金融機関・支店名(支店番号)	預金種別・口座番号	口座名義
みずほ銀行 錦糸町支店(322)	普通預金 3039161	一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

- ご寄附金額 ご寄附の金額はご自由に設定いただけます。

※振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。
※領収証書が必要な方は、恐れ入りますが東京シティ・フィル公式ホームページの「お問い合わせフォーム」(※右記二次元コードよりアクセス可)または東京シティ・フィル チケットサービス03-5624-4002(平日の月・水・金11:00~15:00)までお問い合わせください。



■ 税制上の控除について

誠に恐れ入りますが、弊団が一般社団法人でございます都合上、いただきました募金・ご寄附は税金等の控除対象とはなりませんことをどうかご了承ください。

なお、東京シティ・フィルには継続的なご寄附の制度として維持・賛助会(P.14参照)がございます。特典内容など含めて詳細をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

Tokyo City Philharmonic Orchestra

1975年4月、自主運営のオーケストラとして指揮者・堤俊作を中心に若く才能ある演奏家たちによって設立。同年ベオグラード音楽祭開幕演奏会を含むヨーロッパ公演、香港・マカオ公演を成功させ、プロ・オーケストラとしての軌道を築く。

年間100回を超える公演は、定期演奏会および特別演奏会だけでなく、オペラ、バレエ公演やポップスコンサート、映画音楽、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。特にテレビにおいては、テレビ朝日『題名のない音楽会』を通じてその新鮮な魅力溢れる演奏を披露し、日本全国で好評を博している。

1997年9月、ドイツ音楽、特にワーグナー指揮者として名高い飯守泰次郎が常任指揮者に就任。2000年9月から4年がかりで展開した「東京シティ・フィル オーケストラ・オペラ『ニーベルングの指環』」全4部作上演（高島勲演出・構成）では、飯守&東京シティ・フィルの創り出す高水準のワーグナー音楽が各方面から大きな反響を巻き起こすと共に、常に高い評価を得ることに成功。続く『ローエングリン』、『パルジファル』、『トリスタンとイゾルデ』でも高水準の音楽と舞台が評価され、2005年、『ローエングリン』で三菱信託音楽賞奨励賞を受賞した。

2002年4月にはフランス音楽に造詣の深いパリ在住の指揮者・矢崎彦太郎が首席客演指揮者に就任。フランス音楽の世界を幅広く系統立てて網羅した「フランス音楽の彩と翳」と題する画期的なシリーズにより、日本の楽壇に広める

役割を果たした。そして海外公演にも積極的に取り組み、2003年2月シンガポール、2004年4月ロサンゼルス・サンフランシスコ、2005年9月パリ・ランス、2007年12月バンコク、2008年6月ジャカルタ、2011年釜山の各都市を訪問。音楽を通じての各国相互交流事業の一翼を担ってきた。

また地域コミュニティでの活動も積極的に展開。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点としてティアラこうとう定期演奏会をはじめとする各種コンサートや公開リハーサル、ファンと楽員との交流会、楽器の公開レッスン、音楽鑑賞教室、区内小学校へのアウトリーチ活動など、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。

2012年4月、宮本文昭が初代音楽監督に就任。シーズン毎に「完全燃焼」「飛翔」「発!」のテーマを掲げ、オーケストラに新風を吹き込んだ。2015年4月、楽団創立40周年を迎え、第4代常任指揮者に高関健が就任。第300回定期演奏会でのベルリオーズ「ファウストの劫罰」、第50回ティアラこうとう定期演奏会でのオペラ「夕鶴」（演奏会形式）など、オペラ作品も積極的に取り上げ、いずれも好評を博した。2019年3月には「ロシアにおける日本年」の一環としてウラジオストクとサンクトペテルブルクにおいて團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を演奏し、日ロ文化交流に大きな役割を果たした。同年4月より藤岡幸夫が首席客演指揮者に就任。これからの活躍が最も期待されているオーケストラである。

常任指揮者	高関 健
首席客演指揮者	藤岡 幸夫
桂冠名誉指揮者	飯守泰次郎
永久芸術顧問	芥川也寸志 黛 敏郎
永久名誉指揮者	森 正
永久桂冠指揮者	堤 俊作
コンサートマスター	戸澤 哲夫
特別客演コンサートマスター	荒井 英治

第1ヴァイオリン	□栗津 惇 安藤 貴子 木村 典子 黒川 史恵 古賀 恵 高宮城 凌 照沼 愛子 野尻弥史矢 藤野 郁子 前島 純子 吉武 由夏
第2ヴァイオリン	◎山本 佳輝 桜井 春栄 中津留果己 浜田 慶子 松坂 明子 盛川 奈々 吉田 巧

ヴィオラ	◎白木 麻弥 落合 なづき 粕谷 和 佐藤 裕子 佐藤 良輔 三瓶 麻子 中村 詩子 山田 真子
------	---

チェロ	◎長明 康郎 ◇大友 肇 □香月 圭佑 阿相 道広 鈴木 龍一 西牧佳奈子 畑野 誠司
コントラバス	◎山崎 実 瀬野 恒 蓮池 仁 宮田 周介

フルート	◎竹山 愛 正木 知花
オーボエ	◎本多 啓佑 高橋 舞
クラリネット	◎山口 真由 ○須東 裕基
ファゴット	◎皆神 陽太 ○石井野乃香 鈴木 明博

ホルン	荒木 政隆 小林 祐治 谷 あかね 村本 岳史
-----	----------------------------------

トランペット	◎松木 亜希 平木 仁
--------	----------------

トロンボーン	◎佐藤 洋樹 ○▲藤田麻里奈
--------	-------------------

テューバ	横田 和宏
------	-------

ティンパニ	◎目等 貴士
-------	--------

打楽器	松本 祐二
-----	-------

指揮研究員	松川 智哉
ステージ・マネージャー	土屋 秀仁
ステージ・スタッフ	影山 智章 金子 覚 渡邊 温子

ライブラリアン	堀内 英子
アシスタントライブラリアン	梶原 日和
永久名誉団員	常盤 俊雄 中村明紀子 弘中 秀
名誉団友	山崎 道雄

団友	市川 清士 伊藤 裕悦 海治 洋一 江里口敦子 児玉統史子 小林 賢次 佐藤 昌樹 猿田 博 島田 俊雄 玉井 俊明 中村 治子 庭野 隆之 東 育雄 村上 信晴
----	--

楽団長	志田 明子
運営委員	佐藤 裕子 野尻弥史矢 蓮池 仁 皆神 陽太

事務局員	熊野 良子 西條 隆弘 新藤 毅 鈴木 まどか 友近 祐未 星野 繁太 松本仁衣菜 吉原 夏美 渡邊 智子
------	---

相談役	篠宮 良幸
監事	山崎 昭生
顧問弁護士	清水 勉
顧問税理士	村田 富子

◎印 首席奏者 ◇印 客員首席奏者 ○印 副首席奏者 □印 フォアシニプレーヤー *印 嘱託団員 ▲印 休団中

発行日: 2021年6月16日
 発行人: 志田 明子
 発行所: 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 〒135-0002 東京都江東区住吉一丁目19番1-203号
 Tel: 03-5624-4001 Fax: 03-5624-4114 E-mail: mail@cityphil.jp https://www.cityphil.jp/

デザイン・印刷: 株式会社 デザイン・グリッド
 許可なき複製、転載は固くお断りいたします。 All Rights Reserved. Copyright © Tokyo City Philharmonic Orchestra 2021 (非売品)